

えばらっこ

やさしく たくましく やいぬく

荏原小学校だより
令和4年8・9月号



コロナ禍と読書

2学期がスタートしました。暑かった夏休みはいかがだったでしょうか、令和元年の年度末から「新型コロナウイルス感染症」について目にするようになりましたが、この夏は『行動制限のない夏』となり、今までよりものびのびと過ごすことができたのではないのでしょうか。今日から気持ちを切り替え、学校生活をしっかりがんばってほしいと思います。学校だより7月号でお示ししたとおり、9月はまだ気温が高く、熱中症にも気をつけながら生活する必要があります。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉にある通り、お彼岸の頃まで気をつけていけたらと思います。また、2学期には、修学旅行（6年）や山の学習（4年）、バス旅行（1～3年）、学芸会などの行事があり、子どもたちが楽しみにしていて、たくさん活躍できる場があります。充実したものにしてほしいと思います。

さて、コロナや、台風等のため外出の機会が減ってしまうことはないでしょうか。子どもたちの、オンラインゲームを含むゲームをする時間や、SNSにアクセスする時間の増加も憂慮するところです。家庭での時間の過ごし方として、「読書」の時間に再度目を向けてみるのもいかがでしょうか。

実は、昨年度井原市内の学校図書館司書の先生方で相談し、木之子中学校区の各小学校のブックリストの見直しが行われました。「えばら100せん」として、司書の先生が図書時間に児童に紹介しました。小学校の間に読んでほしい本として、低学年50冊、中学年30冊、高学年20冊を選んでいます。

読書を通して、ワクワクする世界に入り込んだり、自分が知らなかった生き方や考え方にふれたり、自分が新しいことに興味をもつきっかけになったり、と「本」には、さまざまな可能性があると思います。コロナ禍に加え、台風等のもとで、時間の過ごし方が限られるこれから、ぜひ図書室や図書館に足を運んでみるのもよいのではないのでしょうか。100冊のうちで、私が特に印象に残った本は次の通りです。

《低学年》	「だいくとおにろく」	日本のむかしばなし	・	「てぶくろ」	ウクライナ民話
《中学年》	「ソメコとオニ」	斎藤 隆介	・	「としょかんライオン」	ミシェル・ヌードセン
《高学年》	「100万回生きたねこ」	佐野 洋子	・	「ゆかいな床井くん」	戸森しるこ

ちなみに、今年度は中学校のブックリストの見直しをしています。私が読んで良かったなあと思った本としては、

- ・「理系アナ柘太一の生物部な毎日」 柘 太一
 - ・「くちびるに歌を」 中田 永一
 - ・「晴れたらいいね」 藤岡 陽子
- などがありました。



多少難しいかもしれませんが、高学年くらいの方はぜひ挑戦してほしいなあと思います。

9月を迎え・・・

早いもので9月に入ろうとしています。9月が終わると今年度の半分が終わることになります。今の学年で頑張ろうと決めたことがあると思います。今一度振り返り、『やるべきときに やるべきことを やりぬく』ようにし、すばらしい毎日を送ることができるよう願っています。 (校長 田井 徳彦)